
2025 SBRK セミナーのご案内

主催：近畿耐性菌研究会

【テーマ】遺伝子検査技術を用いた菌種同定（ブロードレンジ PCR、NGS データ解析法）

【日 時】令和 8 年 2 月 28 日（土）9 時 30 分～16 時 25 分

【会 場】天理大学 別所キャンパス

【定 員】48 名

【受講料】10,000 円

【日 程】

- 9：30～ 開講式
- 9：40～10：30 実習 1：ブロードレンジ PCR（DNA 抽出・PCR ミクスチャー調合）
- 10：30～11：00 講義 1：PCR 導入にむけて（機器・試薬・プライマーの購入など）
講師：中村 竜也（京都橘大学 健康科学部 臨床検査学科）
- 11：00～11：40 講義 2：ブロードレンジ PCR による菌種同定～16S rRNA 解析の実際と限界～
講師：中村 彰宏（天理大学 医療学部 臨床検査学科）
- 11：40～12：30 ランcheonセミナー（共催：極東製薬工業株式会社）
市販テストベアキットを用いた事例～プライマーの設計から反応系の構築まで～
講師：曾家 義博（東洋紡株式会社 バイオ事業総括部）
（ 休憩 ）
- 12：45～13：05 実習 2：アガロース電気泳動
- 13：05～13：45 講義 4：in-house PCR の現場運用の実例（細菌・真菌・薬剤耐性）
講師：仁木 誠（大阪公立大学医学部附属病院 感染制御部）
- 13：45～14：15 実習 3：アガロース電気泳動判定
- 14：15～14：45 講義 5：シーケンスデータの解析
講師：中村 彰宏（天理大学 医療学部 臨床検査学科）
- 14：45～16：05 実習 4：シーケンスデータの解析
- 16：05～16：25 総括・質疑応答・機器展示
- 16：25～ 閉講式

【研修会内容】

Covid-19 のパンデミック対策として、多くの医療施設において遺伝子検査機器が導入され、PCR を用いた Covid-19 の遺伝子検査が実施されました。アフターコロナ、ウイズコロナ時代となり、それらの機器を今後どのように活用していくかが課題となっております。しかしながら、遺伝子検査の基礎的な知識や技術を学ぶ機会は少なく、そのような機会がないままに遺伝子検査を実施されている方も少なくないのではないのでしょうか。今セミナーでは、菌種同定に用いられる 16S rRNA を用いたブロードレンジ PCR やシーケンス解析を実施し、遺伝子検査の基本的な知識と技術を詳しく学べる機会としたいと思っております。実習を通して実際に体験していただき、是非自施設における微生物検査運用の一つとして検討していただきたいと考えております。また、遺伝子検査に関する質疑応答や、検査展示も実施する予定です。

【申込み方法】

近畿耐性菌研究会 HP (<http://plaza.umin.ac.jp/~SBRK/>) の申し込みフォームより事前参加登録をお願いします。申し込みが完了しましたら、参加費のご入金をお願い致します。入金確認が完了した時点で参加申し込み完了となります。期限内に入金を確認できない場合は参加いただくことができない場合がありますので、予めご了承下さい。

【申し込み期間】

受付開始は、令和 7 年 12 月 15 日（月）～ 2 月 16 日（月）の予定です。締め切り日前でも定員になり次第受付終了と変更させていただく事がありますので、予めご了承下さい。

【懇親会】

研修会終了後、懇親会を開催いたします。（17 時 30 分より天理駅近辺にて開催予定）
参加をご希望の方は参加申込時に合わせてお申し込みください。

【研修会事務局】

近畿耐性菌研究会

2025SBRK セミナー事務局

公立那賀病院 臨床検査科

口広智一

TEL : 0736-77-2019

Email: tk_kensa@nagahp.jp